

クマ出没注意

クマが向かってきた間一髪

地元男性 偶然鹿わなに掛かり命拾い

飯高町栗野の林道沿い斜面

松阪市飯高町栗野の山林で5日、ツキノワグマが現れ、わな猟の男性が襲われる寸前だったことが7日までに分かった。クマは奇跡的に鹿のわなに掛かったため男性は難を逃れ、クマはその場で殺処分された。県はレジャーシーズンで山野に近づく機会が増えることから、十分に警戒するよう注意を呼び掛けている。

民家に60メートル、警戒呼び掛け

県松阪農林事務所（松阪市高町）によると、ツキノワグマは体長約1.3メートルの雄の成体。5日午前7時半ごろ、害獣駆除を目的に鹿のわなを仕掛



ツキノワグマ＝飯高町栗野の山林で処分された

足が掛かったため、運よく助かったという。

飯高町栗野の山林で処分されたツキノワグマ。県松阪農林事務所管内

けていた地元の男性が、山へわなの様子を見に行つた折、林道沿いの斜面の上からクマが姿を現した。男性の姿を確認したクマは突然、斜面を駆け下りて男性に向かって走つて来た。男性は慌てて逃げだしたが、偶然鹿用

に仕掛けたわなにクマの

では直近3カ月で、多気郡大台町大杉（6月29日）と、同町栗谷（8月5日）で目撃情報が各1件、7月1日に大杉の国有林内でわなにかかり山に放したのが1件あった。

県では森林などに立ち入る際は、鈴や笛、ラジオなどの音のするものを携帯し、単独行動は避ける他、早朝や夕方はクマの活動が活発になる時間帯なので特に注意することなどを呼び掛けている。

夕刊三重新聞

2025年8月8日